

「賀茂地域教育振興方針」の一部改訂 (取組期間 令和2～5年度)



令和2年3月25日
静岡県教育委員会

- 1. 賀茂地域教育振興方針に基づくこれまでの取組（H28～R1）**
- 2. 課題と今後の方向性**
- 3. R2～R5の方針と重点取組**

1. 賀茂地域教育振興方針に基づくこれ までの取組(H28～R1)

(1) 方針の概要

急激な人口減少などに対応し、理想の教育を実現するため、賀茂地域が一体となって施策を推進するための方針を策定（H28年度）

【策定主体】

賀茂地域広域連携会議「教育委員会の共同設置専門部会」
（賀茂地域1市5町教育委員会及び県教育委員会）

【取組期間】 平成28年度～令和元年度（4年間）

【教育ビジョン】

- 1 幼保・小・中・高の一体となった学校教育
- 2 大学・大学院等との連携
- 3 既存ストックの有効活用
- 4 人的ネットワーク及び及び施設間連携の構築

* この他、各種データや取組の視点等を掲載

(2) H28～R1の主な取組

施策の柱		取組の主な進捗状況
1 幼保・小・中・高の一体となった学校教育	(1) 市町内・市町間の学校連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>賀茂地域教育振興センターの設置</u> ・<u>指導主事及び幼児教育アドバイザーの共同設置</u> ・<u>賀茂地域学校魅力化推進協議会の設置</u>
	(2) 人口減少に対応した教育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット学習などICT教育の推進 ・共同による校務支援システムの導入
2 大学・大学院等との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・静大教職大学院「学校等改善支援研究員」制度の活用 ・<u>静大・県大・文芸大との連携協定の締結</u> ・<u>下田総合庁舎への賀茂キャンパスの整備</u>
3 既存ストックの有効活用		<ul style="list-style-type: none"> ・余裕教室、遊休施設のリストアップ及び文部科学省サイトへの掲載 ・学校施設の開放
4 人的ネットワーク及び施設間連携の構築		<ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域教育サポーター推進組織の設立 ・図書館の相互利用協定の締結

指導主事・幼児教育アドバイザー の共同設置

(取組)

- ・下田総合庁舎に賀茂地域教育振興センターを設置、指導主事を共同設置 (H29.4～)
- ・幼児共同アドバイザーを共同設置 (H31.4～)

(効果)

- ・学校・幼児教育施設訪問及び研修の強化による教育内容の質の向上
- ・幼小連携体制の構築
- ・賀茂地域の教育の一体感向上



幼児教育アドバイザー

大学との連携協定の締結と賀茂 キャンパスの設置

(取組)

- ・静岡大、静岡県立大、静岡文化芸術大との包括的連携協定を締結 (H30.12)
- ・各大学の活動拠点として、賀茂キャンパスを下田総合庁舎に整備 (R2.1～)

(効果)

- ・包括連携協定を踏まえたフィールドワークなど、大学と連携した取組
- ・大学主催の社会人コース開設予定 (R2～)



賀茂キャンパス看板除幕

2. 課題と今後の方向性

2. 課題と今後の方向性

(1) 課題

連携して様々な取組を進めているが...

(目標)「中学卒業時に『将来、賀茂地域に帰ってきたい』と思う子どもの割合」 目標値 50%

(現状)方針策定時(H28年度) 30%→令和元年度調査 23%



なぜ帰ってきたいのか？

なぜ帰ってきたくないのか？

帰ってきたい		外に出たい	
理由	割合	理由	割合
地域愛	47%	外の世界へのあこがれ	37%
豊かな自然	27%	不便な田舎	36%
家族や仲間	9%	仕事や夢	21%
地元で働く	6%	不安	6%

- ・「帰ってきたい」は賀茂地域へのポジティブな印象  によるものがほとんど
- ・「外に出たい」はポジティブな理由6割、賀茂地域へのネガティブな印象  によるものが4割



子供たちに自分の生まれ育った地域を好きになってもらうことが重要

(2) 方向性

これまで取り組んできた仕組みや拠点を活かして、一人一人に賀茂地域のよさを伝えていく取組が必要



「教育で人を呼び込めるような地域づくり」を目指し、3つの方向性

- ①賀茂地域の将来に向けて地域全体で取組を進めていく一体感の形成
- ②子供たちが「賀茂地域に帰ってきたい」と思えるよう、地域の魅力を伝える教育の充実
- ③子供たちが地元に戻ってきて、学び続けることや地域に貢献できる環境の構築

3. R2～R5の方針と重点取組

3. R2～R5の方針と重点取組

(1) 「賀茂の教育」の基本理念 ～「賀茂の子」～

「『賀茂の子』を育てる」という理念を改めて共有

「賀茂の子」とは...

「『賀茂は一つ』の想いのもと、ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域の発展に貢献できる人」

(2) 「賀茂の教育」の基本目標

基本理念を実現するための基本目標

- 学校・家庭・地域が連携し、地域全体で「賀茂の子」を育てる環境づくり
- 学校教育・社会教育の魅力化により、教育で人を呼び込む地域づくり

(3) 施策の方向性と重点取組

3つの方向性と5つの重点取組

	方向性	重点取組等
1	賀茂地域の将来に向けて、地域全体で取組を進めていく一体感の形成	「賀茂の子」の理念の共有
2	子供たちが、「賀茂地域に帰ってきたい」と思えるよう、地域の魅力を伝える教育の充実	① 幼児教育の推進 ② 活力ある小・中学校づくり(学校統合などの研究を含む) ③ 高校の魅力化 ④ 大学・学生との連携(地域との連携・交流の推進)
3	子供たちが、地元に戻ってきて、学び続けることや地域に貢献できる環境の構築	④ 大学・学生との連携(地域づくり人材の育成) ⑤ 社会教育の魅力化

(4) 重点取組

① 幼児教育の充実

幼児教育アドバイザーを軸にした教育内容の充実、交流の活性化

1 幼児期の教育・保育の質の向上

- 幼保こ・小の連携強化（幼児教育アドバイザー巡回等）
- 教員の研修の充実

2 家庭・地域と連携した子育て環境づくり

- 家庭・地域との連携強化
- 読書活動の推進

②活力ある小・中学校づくり

地域への愛着を深める教育の充実、人口減少に対応した体制構築

1 小・中学校における教育の質の向上

○教職員の資質向上（指導主事による学校訪問・研修等）

○ICTの活用の推進

2 賀茂地域の魅力を伝える教育の充実

○地域を知る学習やキャリア教育の充実（賀茂版Dream授業等）

3 人口減少に対応した教育体制の構築

○学校統合などの研究の推進

(参考)「未来を切り拓くDream授業」

一流の講師の講義等により、子供たちの能力を伸ばすきっかけをつくる

OR1概要(県開催)

日程	令和元年8月6日～9日	
場所	静岡県庁(初日のみ)、静岡県総合教育センター(掛川市)	
対象	県内の中学1・2年生30名(応募者107名。抽選で選考)	
内容	講義	講師8人(川勝知事、若村麻由美氏(俳優)、小野澤宏時氏(ラグビー元日本代表)、斎藤成也氏(国立遺伝学研究所教授)ほか)
	交流・実技	外国人留学生・ALTとの交流、SPAC俳優による表現指導
	討議・発表	テーマ:「みんな知事になって理想のまちをつくろう」



賀茂地域ゆかりの講師陣による
賀茂版「Dream授業」の実施を検討



③高校の魅力化

高校の魅力の向上、高校を起点とした地域の活性化

1 賀茂地域における魅力ある高校づくりの推進

○魅力ある学校づくり推進事業（「賀茂地域学校魅力化協議会」等）

○“夢を実現する力”育成のための高校改革

2 教職員の資質向上

○総合的人間力と教育的スキルを併せ持つ人材の育成

3 ICT教育環境の整備

○新時代に対応可能な先端技術の整備

④大学・学生との連携

大学・学生と地域との連携・交流、地域発展に向けた人づくりの推進

1 大学と地域との相互連携・交流の推進

○3大学(静大・県大・文芸大)との協定に基づく取組

(フィールドワークの推進等)

○その他の協定(各市町で締結)等に基づく取組

2 賀茂キャンパスを起点とした交流の推進

○キャンパス活用の推進(「キャンパス活用推進委員会」等)

⑤社会教育の魅力化

社会教育における連携の推進、地域活性化に向けた人材の育成

1 社会教育に係る市町間連携

○社会教育に係る情報の共有

○社会教育施設に係る連携(ファシリティマネジメントの研究等)

2 地域づくり人材の育成・活用

○社会人教育の推進

(大学が主催する社会人コースの設置・運営支援等)